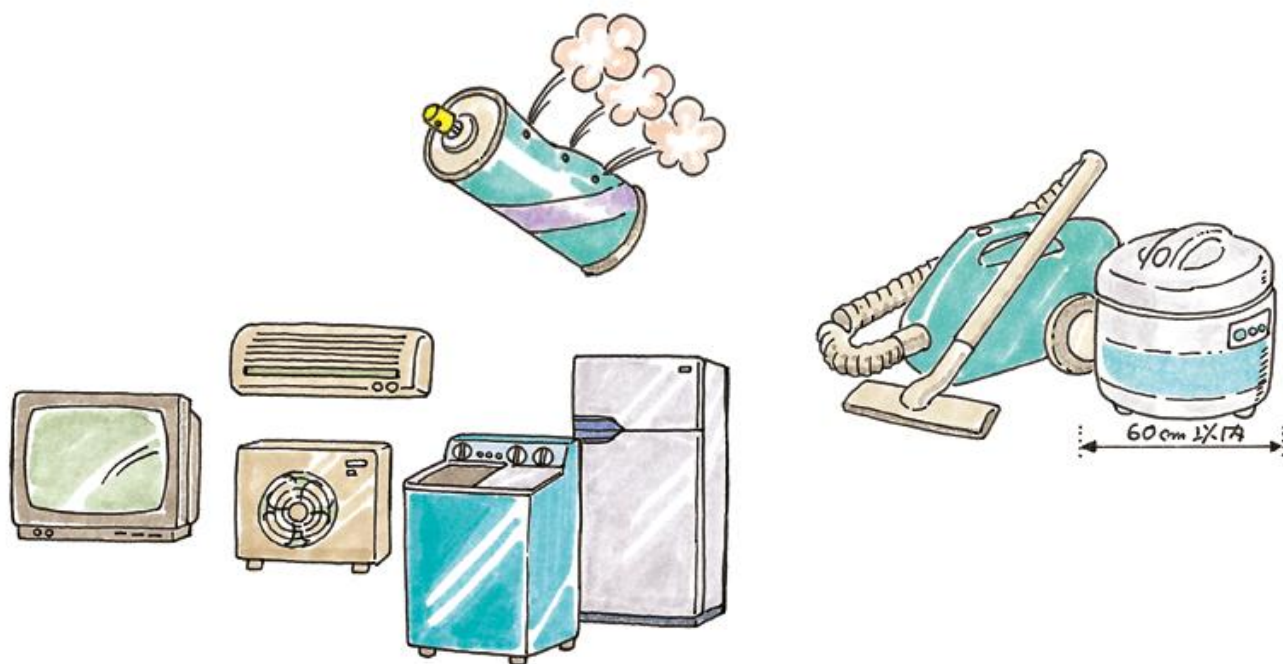


50期 (令和7年度 R6.12月~R7.11月)

環境活動レポート



株式会社サンクリーン

発行年月日 令和8年3月25日

～ 目 次 ～

| | | |
|--|----------|------|
| 挨拶・環境経営方針 | ・・・・・・・・ | 1 |
| 事業概要&認証登録範囲 | ・・・・・・・・ | 2 |
| 実施体制 | ・・・・・・・・ | 3 |
| 環境経営目標 | ・・・・・・・・ | 4 |
| 環境経営計画 | ・・・・・・・・ | 5 |
| 環境目標の実績 | ・・・・・・・・ | 6 |
| 環境活動計画の取組結果とその評価、 次年度以降の取組内容 | ・・・・・・・・ | 7 |
| 環境関連法等の遵守状況の確認及び評価 並びに違反、訴訟等の有無 代表者による全体評価と見直し結果 | ・・・・・・・・ | 8 |
| 情報公開事項 | ・・・・ | 9～11 |
| 中間処理工程 | ・・・・・・・・ | 12 |

環境経営方針

【基本理念】

株式会社サンクリーンは、廃棄物の適正処理と資源循環を通じて、地域社会および地球環境の持続可能な発展に貢献します。「美しい環境を次世代へ」という責任を胸に、社員一丸となって環境負荷の低減に努めます。

【行動指針】

◆ 資源循環（3R）の推進と提案

自社の活動のみならず、お客様の廃棄物削減・再利用・再資源化を積極的にサポートし、地域における資源循環のパートナーとして環境保全活動に寄与します。

◆ 低炭素・省エネルギー活動の徹底

収集運搬車両のエコドライブおよび効率的な配車を追求し、CO2排出量の削減に努めます。また、事業所内での節電・節水・ペーパーレス化を徹底し、省資源化を推進します。

◆ 持続可能な調達（グリーン購入）の優先

事務用品から車両関連備品に至るまで、環境負荷の少ない製品を優先的に選択する「グリーン購入」を推進します。

◆ コンプライアンスの遵守とリスク管理

廃棄物処理法をはじめとする環境関連法規を厳守し、適正処理を徹底することで、不法投棄の防止と健全な社会環境の維持に努めます。

◆ 全従業員による主体的活動

具体的な環境目標と活動計画を策定し、全従業員が教育・啓発を通じて高い環境意識を持ち、自らの職務において主体的に行動できるよう環境を整えます。

◆ 経営層による継続的改善（コミットメント）

代表者は本方針の達成に向けた責任を担い、経営資源を適切に投入します。定期的に取り組状況を評価・見直し、環境経営システムの継続的な向上を図ります。

◆ 情報の公開とコミュニケーション

本方針を全従業員に周知するとともに、社外へも積極的に公開し、地域社会やステークホルダーとの信頼関係を築きます。

令和7年3月31日

株式会社サンクリーン
代表取締役社長 藤井 達司

事業の概要と認証登録範囲

- ◆ 名称及び代表者名 株式会社サンクリーン
代表取締役社長 藤井 達司
- ◆ 所在地 岩手県花巻市太田第5地割74番地
電話 0198-28-2245
FAX 0198-28-2248
HP <https://www.sun-clean.org/>
Eメール sun-clean@echna.ne.jp
- 

- ◆ 環境管理責任者 環境管理責任者 戸来 章

- ◆ 事業の内容 一般廃棄物・産業廃棄物 収集運搬業
産業廃棄物（廃プラスチック）中間処理（処分）業

- ◆ 事業規模 令和7年度実績 【50期】（R6.12.1～R7.11.30）

| | 46期 令和3年度 | 47期 令和4年度 | 48期 令和5年度 | 49期 令和6年度 | 50期 令和7年度 |
|---------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 売上高（千円） | 209,411 | 217,859 | 223,583 | 236,900 | 238,455 |
| 従業員数 | 29名 | 30名 | 30名 | 30.5名 | 31名 |
| 延べ床面積 | 14,665㎡ | 14,665㎡ | 14,665㎡ | 14,665㎡ | 14,665㎡ |
| 収集運搬車両 | 16台 | 17台 | 15台 | 17台 | 17台 |

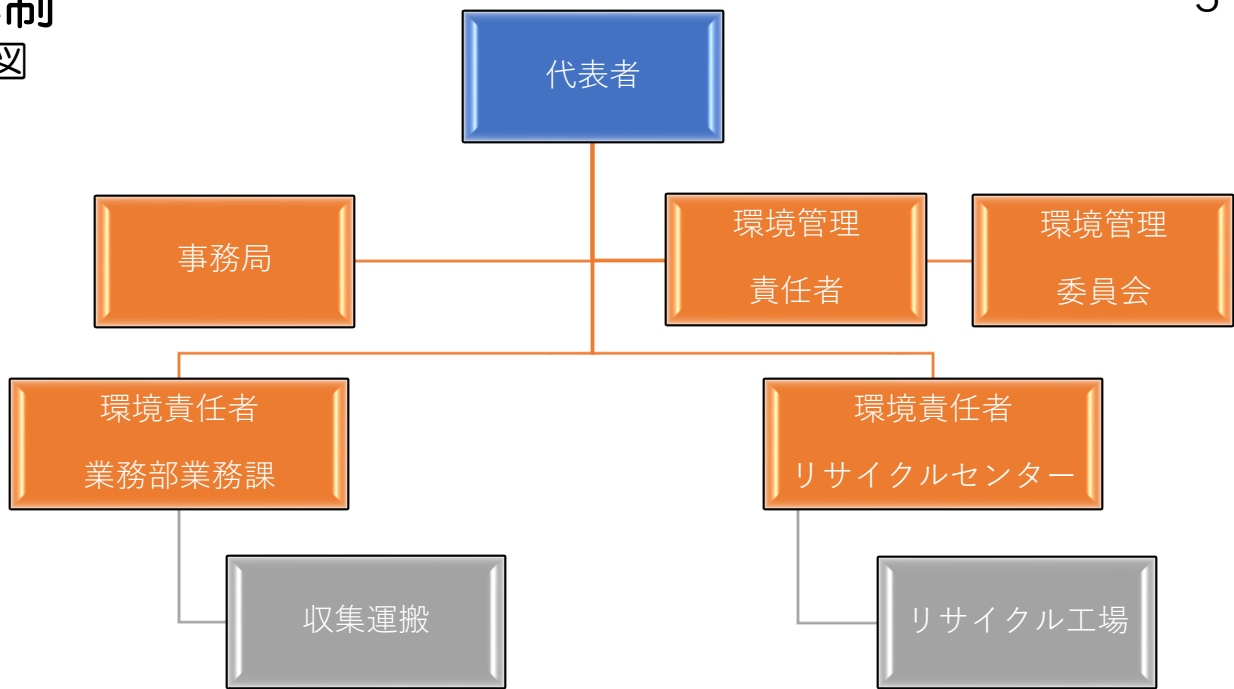
- ◆ 認証登録範囲 全組織・全事業活動が認証登録の範囲

- ◆ 営業範囲 主に、花巻市全域及び
一部近隣市町（北上市・紫波町）

- ◆ グループ会社 株式会社理水興業（100%持株会社）
本社：花巻市星が丘2丁目16-12

実施体制

◆ 組織図



◆ 環境経営システム（役割・責任・権限表）

| | 役割・責任・権限 |
|----------------|--|
| 代表者 (代表取締役) | <ul style="list-style-type: none"> ○環境経営に関する総括責任 ○環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ○効果的な実施体制の構築 ○全体評価と指摘是正事項の見直しと実行 ○組織の構築と環境管理責任者の任命 ○環境方針の策定と全従業員への周知 |
| 環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> ○環境経営システムの構築、実施、管理 ○環境活動の取組結果を代表者及び、環境管理委員会へ報告 ○環境責任者の教育、指導に努める |
| 環境管理委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ○委員長は、社長とし環境管理責任者が招集する。 ○環境管理責任者の提案を審議し、決定事項を部門責任者は各部門で実施する。 ○内部監査の代わりに、計画の進捗状況・ガイドラインへの適合状況を審議し不適合・不具合がある場合は代表者、環境管理責任者に是正を勧告する。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ○環境管理責任者の補佐。運用状況を把握し、結果等の情報収集を行う。 ○地域住民、関連機関からの苦情等の窓口業務を行う。 ○環境活動レポートの作成、公開（事務所に備え付け） ○取組データの集計、取りまとめおよび文書記録類の管理 |
| 環境責任者 | <ul style="list-style-type: none"> ○目標達成の取組みを推進し、進捗を確認し必要に応じ是正処置・改善を環境管理責任者とともに実施する。 ○資源、省エネ、節水等の奨励・実施・確認・是正 ○従業員に対する教育訓練の実施 |
| 全従業員 | <ul style="list-style-type: none"> ○環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚し、能力向上に努める ○決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。 |

(1) 主な環境負荷の実績

表1、主な環境負荷等の実績

| 項目 | 単位 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
|--------------|-----------------------|---------|---------|-------|-------|
| 二酸化炭素排出量 | kg-CO ₂ /年 | 263,900 | 262,704 | | |
| 購入電力使用量 | kwh | 11,839 | 11,988 | | |
| 廃棄物排出量 | t/年 | 4.0709 | 2.2066 | | |
| 産業廃棄物排出量 | t/年 | 3.8600 | 2.0160 | | |
| 一般廃棄物排出量 | t/年 | 0.2109 | 0.1906 | | |
| 総排水量（水資源投入量） | m ³ /年 | 59.0 | 90.0 | | |

購入電力の二酸化炭素排出係数は環境省報道発表（2025年度）の東北電力実排出係数 0.486kg-CO₂/kwhを使用。

(2) 環境目標の設定

当社では、令和6年度を基準年度として中期及び単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

| コア指標 | 項目 | 責任部門 責任者 | 単位 | 基準年 (R6年度) | 年度毎目標 (基準年度に対する削減（増加）率の目標値) | | |
|----------------|--------------------|-------------|-----------------------|---------------|--------------------------------|---------|---------|
| | | | | | R7年度 | R8年度 | R9年度 |
| 二酸化炭素 排出量 | 電力の二酸化炭素排出量の削減 | 藤井 | kg-CO ₂ /年 | 5,718 | 5,661 | 5,604 | 5,548 |
| | ガソリン・軽油等の二酸化炭素の削減 | 藤根 | kg-CO ₂ /年 | 256,428 | 253,863 | 251,325 | 248,811 |
| | 灯油、LPG等の二酸化炭素の削減 | 松舘 | kg-CO ₂ /年 | 1,367 | 1,353 | 1,339 | 1,326 |
| 廃棄物 排出量 | 一般廃棄物 | 戸来 | kg/年 | 211 | 209 | 207 | 205 |
| 排水量 | 節水 | 戸来 | m ³ /年 | 59 | 58 | 58 | 57 |
| 環境配慮製品 サービス | 受託した産業廃棄物のリサイクル率維持 | 全員 | % | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | 電子マニフェストの普及 | 山影 | 件 | 9 | 1 | 1 | 1 |
| | ペットボトル、缶のリサイクル率維持 | 部長 | % | 100 | 100 | 100 | 100 |
| | 環境苦情 | 藤根 | 件 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 社員教育 | EA21取り組み教育 | 牛崎 | 回数 | 1 | 2 | 2 | 2 |
| | 緊急事態訓練 | | 回数 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 資質向上教育 | | 回数 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 地域貢献 | 地域清掃等 | 松舘 | 回数 | 1 | 1 | 1 | 1 |

| 項目 | 取組内容 | | | | | | |
|-------------|----------|--|---|--|---|--------------------|---|
| 一酸化炭素排出量の抑制 | 照明 | 昼休みなど、部屋を使用していない時は、照明消灯を確実に実行する。 社員用トイレ、倉庫等不必要な時は、消灯している。 事務室の部分照明を実行する。 | | | | | |
| | 冷暖房 | 冷暖房の温度（冷房28℃、暖房20℃）を順守する。 エアコンのフィルターの清掃を定期的（最低、毎月1回）に行う。 空調を必要な区域・時間帯に限定する。 使用していない部屋は、空調を停止している。 ドアの開け放しはしない。 | | | | | |
| | | 節電 | 残業の時は、必要な箇所のみ点灯し、業務に必要なない箇所は消灯する。 昼休みなど、休憩時、不必要な箇所は消灯する。パソコンの電源は切る。 退社時は、OA機器の待機電源は切る。 パソコン等のOA機器や照明器具などの省エネルギー型への切り替えに取組んでいる。 | | | | |
| | | | 車輛その他 | 車両のアイドリングストップを実践する。 急発進・急加速はしない。 空ぶかしはしない。 冷暖房の控えめ使用 タイヤの空気圧は、適正値を保つよう定期的に調整する。 排気ガス、騒音のレベルを抑えるため、適正な車両整備を行う。 最大積載量に見合った輸送単位の設定を行う。 ハイブリッド車や低公害車への切り替えに取組んでいる。 | | | |
| | | | | 灯油・LPG等の二酸化炭素の削減 | 冷暖房の温度（冷房28℃、暖房20℃）を順守する。冬場は帰宅時間を意識し余熱を活用するようにする。 | | |
| | 廃棄物の排出抑制 | 一般廃棄物 | | 書類の内容やレイアウトを見直し、枚数を少なくする。 会議用資料の簡素化を図る。 同じ内容の資料や書類の写しは1冊にまとめ、複数人で利用する 帳簿見直しによる印刷物の削減 両面印刷、コピーを徹底する。 コピーをする前に、コピー機の設定の確認を行い、ミスコピーを減らす。 コピーは最小限の枚数を行い、余分なコピーは行わない。 使用済み用紙（片面コピー）の裏面を利用する。 使用済みの封筒を再利用する。 個人情報等を含んだ書類はシュレッダー処理を行うが、シュレッダーする前に分別を行う。 発生した紙ごみは、個人の手元で分別し、たまたらフロアの分別ボックスに投入する。 使用済みコピー用紙、段ボール、雑誌、新聞紙等は、所定の場所に分別保管する。 分別した紙ごみは、再生資源業者に引き渡し、リサイクルする。 古紙リサイクルを徹底する。 電子メール等を利用し紙を削減する パソコンで社内ネットワークを構築し、文書を共有する 文書の共有により、不要な印刷物を削減する。 商品や郵便や宅配便等の包装は、できるだけ簡易なものを選ぶ 不要なダイレクトメールは「受取拒否」する オフィス用紙には、できるだけ再生紙を購入し、使用する 紙コップなど使い捨て製品の使用や購入を抑える。 リターナル容器に入った製品を優先的に購入・使用する。 ゴミ箱の中に紙などを混入させないなど、廃棄物の分別を徹底する。 紙・金属缶等は、所定の保管容器に確実に分別する。 コピー機のトナーカートリッジの回収、リサイクルを推進する。 | | | |
| | | | | 産業廃棄物 | 廃油、廃プラスチック、金属くず、ガラスくずなどは所定の置場に分別保管する。 分別を徹底し有価物化する。 一般ゴミが混載しないよう定期的にチェックする。 飛散、漏洩、悪臭、印象など、保管の状態に問題がないよう適正な管理を行う。 産業廃棄物管理票（マニフェスト）をもとに廃棄物の適正な処理を行う。 廃棄物の中間処理場などを定期的に、直接、チェックする。 | | |
| | | | | | 資源として有価販売 | ペットボトルの収集、処理、件数の増加 | |
| | | | | | 節水・排水 | 用水・排水 | 洗車時の無駄水の防止（ストップノズル取付）に努める。 蛇口の水漏れがないか確認する。 水道水を出しすぎない。 水道を流しながら使用しない。 節水の表示を行う。 事故防止や汚染防止のためにウエス、吸着マットなどは、適切に保管する。 |
| | | | グリーン購入 | | | | 事務用品の購入 消耗品の購入 |

当社では、環境目標に対して達成状況の確認・評価を行いました。

今回は、49期令和6年12月～令和7年11月までの実績についての評価結果

●当該年度の環境目標の達成状況等

| コア指標 | 項目 | 責任部門 責任者 | 単位 | 基準年 (R6年度) | 令和7年度 | | | 環境目標の 達成状況 | |
|----------------|--------------------|-------------|-----------------------|---------------|----------------|-----------|-----------|---------------|-----|
| | | | | | 削減(増加) 率(%) | 目標値 | 実績値 | 目標 | 対前年 |
| 二酸化炭素 排出量 | 電力の二酸化炭素排出量の削減 | 事務所 | kg-CO ₂ /年 | 5,718.2 | 1%削減 | 5,661.1 | 5,826.2 | 未達成 | 未達成 |
| | ガソリン・軽油等の二酸化炭素の削減 | 部長 | kg-CO ₂ /年 | 256,428 | 1%削減 | 253,863.3 | 254,345.4 | 未達成 | 達成 |
| | 灯油、LPG等の二酸化炭素の削減 | 事務所 | kg-CO ₂ /年 | 1,367 | 1%削減 | 1,353 | 2,233 | 未達成 | 未達成 |
| 廃棄物排出量 | 一般廃棄物 | 事務所 | kg/年 | 210.85 | 1%削減 | 208.74 | 190.55 | 達成 | 達成 |
| 排水量 | 節水 | 課長 | m ³ /年 | 59.00 | 現状維持 | 57.00 | 90.00 | 未達成 | 未達成 |
| 環境配慮製品 サービス | 受託した産業廃棄物のリサイクル率維持 | 全員 | % | 100.00 | 100%維持 | 100 | 100 | 達成 | 達成 |
| | 電子マニフェストの普及 | 事務所 | 件 | 9 | 1件増 | 10 | 1 | 達成 | 達成 |
| | ペットボトル、缶のリサイクル率維持 | 部長 | % | 100.00 | 100%維持 | 100 | 100 | 達成 | 達成 |
| | 環境苦情 | 事務所 | 件 | 0.00 | | 0 | 0 | 達成 | 達成 |
| 社員教育 | EA21 取り組み教育 | 牛崎 | 回数 | 1.00 | 年2回程度 | 2 | 1 | 未達成 | 達成 |
| | 緊急事態訓練 | | 回数 | 1.00 | 年1回 | 1 | 1 | 達成 | 達成 |
| | 資質向上教育 | | 回数 | 1.00 | 年1回 | 1 | 1 | 達成 | 達成 |
| 地域貢献 | ボランティア活動 | 松舘 | 回数 | 1.00 | 年1回以上 | 1 | 1 | 達成 | 達成 |
| | 地域清掃等 | | 回数 | 1.00 | 年1回以上 | 1 | 1 | 達成 | 達成 |

環境目標の達成状況等

1、二酸化炭素排出量

(1) 電力の二酸化炭素排出量の削減

昼休み消灯、暖房時間の短縮、暖房便座のふたを閉めるなど継続実行している。
早い時期からの猛暑酷暑により、夏季期間の冷房・送風機などの電気の使用量が増加したためである。
従業員の意識的な活動は継続実行している。業務量の増加により特に秋季から冬季の夕刻（夕暮れ）時の作業のため安全作業を最優先に考え、構内の屋外街灯を最大限に活用する必要もあるため使用電力が対前年を上回る結果となった。

(2) ガソリン・軽油等の二酸化炭素の削減

業務車両の低燃費車両の導入を進めている。
目標値には未達だったが、対前年を下回る結果になったことは一定程度評価できる。
従業員には引き続き、アイドリングストップ・急発進急停車などセーフティドライブを継続実施するよう意識改革を実施している。

(3) 灯油・LPG等の二酸化炭素の削減

電力同様、冬季間の例年以上の降雪・積雪に加え、低気温の時期が多かったことにより灯油燃料の消費が多くなった。
引き続き設定温度を下げ、タイマー等で使用時間を短くして多少でもその効果に期待する。
今後事務所・作業場の改修等（保温断熱）も検討しなくてはならないと考える。

2、一般廃棄物

再生利用できるもの（雑紙類）など従業員意識の向上も浸透しておりリサイクルの厳格化がなされている。

3、産業廃棄物

当社から直接排出する産業廃棄物は0を維持している。
産廃受入れのペットボトルのラベル及び、ビニール袋（廃プラスチック）、残りジュース（廃酸）は産廃として適正に処理されている。

4、総排水量(節水)

未達成の原因は、湯口工場の漏水であった。

5、環境配慮製品・サービス

(1) 受託した産業廃棄物のリサイクル率

100%維持

(2) 電子マニフェスト普及

定期的に保有顧客に対し、電子マニフェストの利用推進を促している。継続的に実施する。

(3) ペットボトル、缶のリサイクル量の向上

100%維持

1. 取組結果の評価

表5 主な環境活動計画の内容と取組結果

| 項目 | | 実施状況の評価 | 達成度 |
|-------------|-------|------------------------------------|-----|
| 二酸化炭素排出量の抑制 | 照明 | 消灯・・・等の取組は、定着。 | ○ |
| | 冷房 | 26度に温度を設定。 | ○ |
| | 暖房 | 18度に温度を設定。 | ○ |
| | 節電 | 昼休みの消灯、暖房便座のふたを閉める。 | ○ |
| | 車輛その他 | エコドライブ推進、暖気運転の時間を短く。 | ○ |
| 排出物抑制の | 一般廃棄物 | 一般廃棄物とリサイクル可能なものを分別する。 | ○ |
| | 産業廃棄物 | 産業廃棄物管理票（マニフェスト）ををもちに廃棄物の適正な処理をする。 | ○ |
| 排節水 | 用水・排水 | 節水表示。 | △ |
| グリーン購入 | | 事務用品、消耗品購入の際は、グリーンマークのついているものを購入。 | ○ |

○：評価できる、△：ますます評価できる、×：評価できない

2. 次年度の取組内容

(1) 二酸化炭素排出量の削減

エコドライブ、屋内外の節電 推進に努め二酸化炭素排出削減に取り組む
 ドライバーからの提案や収集経路を見直しを実施

(2) 廃棄物の排出削減

持続した活動計画の実行

(3) 節水（排水対策）

持続した活動計画の実行

(4) グリーン購入

消耗品、事務用品等エコマークを確認し、環境配慮製品を優先購入する

◆環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける廃棄物処理法など、環境関連法規について遵守状況をチェックしたところ一切の違反はありませんでした。

3/31で花巻市と盛岡紫波地区の一般廃棄物収集運搬許可の期限を迎えるため許可更新の準備を進め、既に申請済みである。また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟等について、問題がありませんでした。

◆代表者による全体評価と見直し・指示の結果

| 見直し項目 | 評価 | 改善及び指示 |
|---|--|---|
| 1 環境方針 ◆資源循環（3R）の推進と提案 ◆低炭素・省エネルギー活動の徹底 ◆持続可能な調達（グリーン購入）の優先 ◆全従業員による主体的活動 ◆経営層による継続的改善 ◆情報の公開とコミュニケーション | 概ね方針通り実行できているが、経営的な観点から業務の改善、設備の修繕などまた、昨今の異常気象の影響から燃料の消費量が目標数値より、厳しい状況がついている。 経営層と従業員間との意識向上、情報の共有もより進んでおり、従業員のアイドリングストップなど主体的な行動も浸透してきている。 | 引き続き、朝礼及び月のミーティングを通じ全従業員が積極的に活動に参加できるよう周知する。 さらには意見交換の場を設けるなどして従業員自ら参加型の取組に移行していく。 |
| 2 環境目標 | 二酸化炭素排出量は、冷房暖房燃料（電力・灯油）の使用量の増加によるものが大きく、目標数値を下回る結果となった。 自動車燃料の消費量は、目標値には届かなかったものの前年を下回る結果であり、高く評価できる。 他の目標に対しては、評価できる結果であった。 | 自動車燃料（軽油）については、引き続きエコドライブの継続を促していく。 顧客の変化に随時対応しながら、収集ルートの見直しを従業員とともに実行する。 引き続き、グリーン購入の推進に力を入れる。 |
| 3 環境活動計画及び環境経営システム | 業務課（運転手・助手）及び事務職員の意識は、高いレベルで実行している。 特に業務車両の日常点検や車両メンテナンス、車内清掃の徹底なども積極的に実行してお評価できる。 自社排出の廃棄物のエコ意識を持ち、分別再利用を意識した行動が実行できている。 | 部門担当者が、朝礼やミーティングなどを通じ定期的に実行周知を促している。 目標の社内掲示名をも積極的に実行していく。 |
| 4 その他（ ） | | |
| 5 全体評価 | 従業員の環境配慮意識はよりいっそう向上している。 継続した教育研修を行うが安全安心作業のためには引き続き、場内の整備（屋外街灯や作業場の冷房設備の導入など）が必要と考える。 また引き続き、積極的に新車の業務車両を導入し、低燃費に努めていく。 本年度以降も予想される夏季の猛暑による冷房機器の使用期間の増加、冬季間の豪雪、気温低下による除雪車の利用時間の増加、暖房機器の追加設置など、労働環境の整備はまだ必要であり、取り巻く環境は厳しいと感じているが、同業者や他の関係機関などの取組を参考にし、従業員とのコミュニケーションを図りながら本年度以降も取り組んでまいります。 | |

◆組織の概要(情報公開)

R8.3.25現在

| | | | | | | |
|--------------|--|-----------------------------------|------------------|--------------|---|----|
| 事業所名 | 株式会社サンクリーン | | | | | |
| 代表者名 | 代表取締役社長 藤井 達司 | | | | | |
| 所在地 | 岩手県花巻市太田5-74 | | | | | |
| 環境管理責任者 | 戸来 章 | | | | | |
| エコアクション21担当者 | 牛崎 貴正 ・ 松館 優子 | | | | | |
| 連絡先 | 電話 | 0198-28-2245 | FAX | 0198-28-2248 | | |
| | E-mail | sun-clean@echna.ne.jp | | | | |
| | URL | http://www.echna.ne.jp/~sunclean/ | | | | |
| 事業活動の内容 | 一般廃棄物、産業廃棄物収集運搬 および 産業廃棄物中間処理 | | | | | |
| 事業計画の概要 | 産業廃棄物収集運搬業、中間処理業を通じて資源循環型社会構築を目的とし、低炭素社会構築に貢献する。 | | | | | |
| 事業の範囲 | 営業範囲：岩手県花巻市 | | | | | |
| 事業の規模 | 事業年度 | R7年度 | R6年度 | R5年度 | R4年度 | |
| | 売上高(百万円) | 238 | 237 | 224 | 217 | |
| | 収集運搬量 t | 10,034 | 8,060 | 10,804 | 8,318 | |
| | 処分量 t | 65.43 | 66.26 | 75.5 | 84 | |
| | 従業員(名) | 31.5 | 31.5 | 30 | 30 | |
| 法人設立年月日 | S50年12月16日 | | 資本金 | 10 百万円 | | |
| 許可の内容 | 許可名/許可番号 | 年月日 | | 事業区分、廃棄物の種類 | | |
| | 花巻地区 一般廃棄物処理業 | 許可 | 第12-5号 | | 事業系ごみ・家庭系ごみ 収集運搬(保管、積替え含む) 花巻市の処理計画区域 | |
| | | 有効 | R6.4.1~R8.3.31 | | | |
| | 盛岡紫波地区 一般廃棄物処理業 | 許可 | 指令第41号 | | 廃家電のみ(運搬) | |
| | | 有効 | R6.4.1~R8.3.31 | | | |
| | 産業廃棄物収集運搬業 | 許可 | 00312036878 | | (水銀使用製品産業廃棄物を含む) 汚泥・廃油・廃酸・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・金属くず・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類(保管、積み替え含む) | |
| | | 有効 | R8.1.23~R13.1.22 | | | |
| | 産業廃棄物処分量 | 許可 | 00322036878 | | 中間処理(圧縮減容処理) 廃プラスチック類・金属くず | |
| 有効 | | R4.11.16~R9.11.15 | | | | |
| 設備 | 設備名 | 能力・産廃の種類 | 台数 | 設備名 | 能力・産廃の種類 | 台数 |
| | 圧縮減容施設 | 廃プラスチック 0.8t/日 | 1 | 塵芥車 | 積載量4150kg | 2 |
| | | | | アームロール車 | 積載量3600kg | 1 |
| | 塵芥車 | 積載量2000kg | 1 | 2tパワーゲート車 | 積載量2,000kg | 1 |
| | 塵芥車 | 積載量2400kg | 1 | コンテナ | | 19 |
| | 塵芥車 | 積載量3500kg | 1 | フォークリフト | | 1 |
| | 塵芥車 | 積載量3700kg | 2 | 磁選別機 | | 1 |
| | 塵芥車 | 積載量3800kg | 2 | 雪掻き機 | | 2 |
| | 塵芥車 | 積載量4050kg | 2 | | | |
| | 塵芥車 | 積載量4250kg | 2 | | | |
| | 塵芥車 | 積載量4300kg | 1 | | | |

◆積替保管施設の面積及び保管上限量

| 廃棄物の種類 | 保管面積 (m ²) | 保管体積 (m ³) | 保管重量 (t) | 備考 |
|---|------------------------|------------------------|-----------|---------------|
| 廃プラスチック① | 14 | 9 | 3.15 | 屋内保管 選別前保管 |
| 廃プラスチック② | 12 | 11.37 | 3.97 | 屋内保管 選別前保管 |
| 廃プラスチック③ | 4 | 2.25 | 0.78 | 屋内保管 選別前保管 |
| 木くず | 2 | 0.41 | 0.22 | 屋内保管 選別前保管 |
| 金属くず① | 7 | 2.83 | 3.19 | 屋内保管 選別前保管 |
| 金属くず② | 6 | 2.33 | 2.63 | 屋内保管 選別前保管 |
| ガラスくず、コンクリートくず (工作物の新築、改築又は除去 に伴って生じたものを除く。) 及び陶磁器くず (ガラスくずに限る。)① | 3 | 0.84 | 0.84 | 屋内保管 |
| ガラスくず、コンクリートくず (工作物の新築、改築又は除去 に伴って生じたものを除く。) 及び陶磁器くず (ガラスくずに限る。)② | 3 | 0.84 | 0.84 | 屋内保管 |
| ガラスくず、コンクリートくず (工作物の新築、改築又は除去 に伴って生じたものを除く。) 及び陶磁器くず (ガラスくずに限る。) | 2 | 0.41 | 0.41 | 屋内保管 積替保管場 |
| 廃プラスチック類、金属くず、 ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くずの混合物 (廃蛍光管に限る。) 水銀使用製品産業廃棄物を含む | 8.5 | 1.54 | 231 (kg) | 屋内保管 積替保管場 |
| 廃プラスチック類、金属くず、 ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くずの混合物 (体温計血圧計に限る。) 水銀使用製品産業廃棄物を含む | 1 | 0.012 | 4.62 (kg) | 屋内保管 積替保管場 |
| 汚泥、金属くずの混合物 (廃乾電池に限る(水銀電池を 含む。)) 水銀使用製品産業廃棄物を含む | 1 | 0.046 | 46.2 (kg) | 屋内保管 積替保管場 |

50期 令和7年度（R6.12～R7.11）

収集運搬

| 一般廃棄物 | | 収集運搬量（トン） |
|---------------------|----------------|-----------|
| 事業系 | 可燃ごみ | 2,513.15 |
| | 不燃ごみ | 43.20 |
| | 資源ごみ（ペットボトル） | 35.64 |
| | 資源ごみ（食品リサイクル） | 29.41 |
| | その他：（発泡） | 10.69 |
| | その他：（牛乳パック） | 5.67 |
| | その他：（びん） | 4.41 |
| 事業系一般廃棄物収集運搬量 計 | | 2,642.17 |
| 家庭系 | 可燃ごみ | 4,085.17 |
| | 不燃ごみ | 245.79 |
| | 資源ごみ（ビン） | 183.29 |
| | 資源ごみ（ペット） | 79.97 |
| | その他：その他のプラスチック | 212.55 |
| | その他：衣類 | 23.42 |
| 家庭系一般廃棄物収集運搬量 計 | | 4,830.19 |
| 一般廃棄物収集運搬量 合計 | | 7,472.36 |
| | | |
| 産業廃棄物 | | 収集運搬量（トン） |
| 廃プラスチック | | 142,598 |
| 木くず | | 15,785 |
| 蛍光管・乾電池 | | 3,939 |
| ガラスコンクリート・陶磁器 | | 7,894 |
| 廃プラ・金属くず混合 | | 14,450 |
| 金属くず | | 7,156 |
| びん | | 62,500 |
| 廃酸 | | 1,350 |
| 汚泥 | | 0,960 |
| 産業廃棄物収集運搬量 合計 | | 256,632 |
| 廃棄物収集運搬量（一般＋産廃） 総合計 | | 7,728.99 |

処分（中間処理）

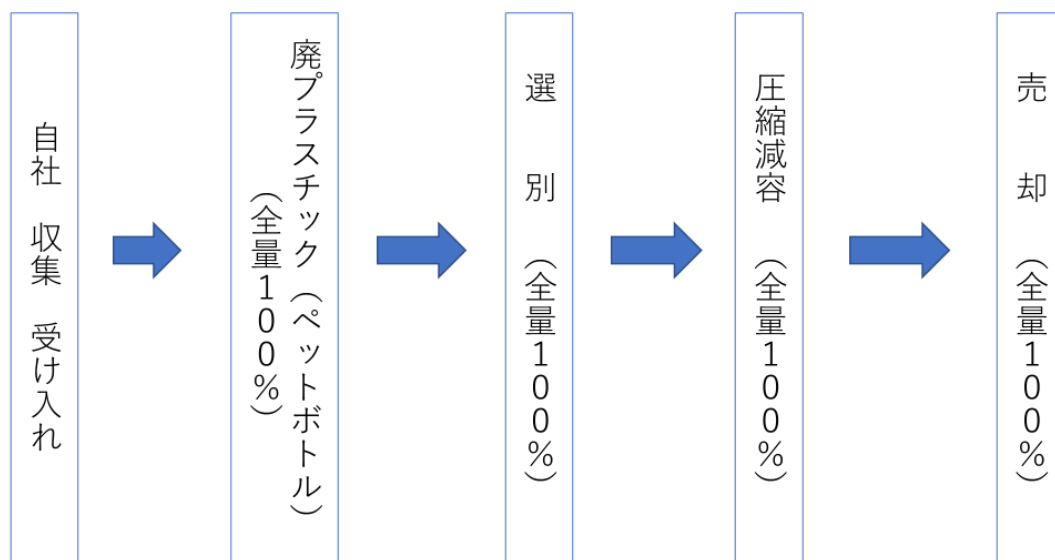
| 中間処理 | 廃棄物の種類 | 処理方法等 | 処理量 |
|--------|-------------|--------|-------|
| | うち 再資源化等 | ペットボトル | 圧縮減容 |
| ペットボトル | | | 65.43 |
| 小計 | | 65.43 | |
| 合計 | | | 65.43 |

中間処理後の産業廃棄物（再資源化）

| 中間処理後 | 廃棄物の種類 | 処理方法等 | 処分量等 |
|----------------|-------------|-----------|-------|
| 中間処理 （再資源化） | ペットボトル（廃プラ） | PETフレーク原料 | 65.43 |
| | 小計 | | 65.43 |
| 合計 | | | 65.43 |

産業廃棄物（ペットボトル）中間処理の処理工程

ペットボトル中間処理（圧縮減容）



株式会社サンクリーン